

公益財団法人 核物質管理センター  
第29回理事会議事録

1. 開催日時 令和3年6月4日(金)  
10時57分～12時09分
2. 開催場所 当センター本部6階会議室を開催場所とするWeb会議  
当センター本部：東京都台東区東上野1-28-9
3. 出席者(順不同)

|     |        |  |
|-----|--------|--|
| 理事  | 代表理事   | 理事長：下村和生(当センター会議室出席)                         |
|     | 業務執行理事 | 小林功、久野祐輔(当センター会議室出席)                         |
|     | 外部理事   | 秋山信将、牛田克己、内山洋司、海老原充、<br>木下雅仁(外部理事5名 Web会議出席) |
|     |        | 【理事現在数8名、出席理事8名】                             |
| 監事  | 外部監事   | 高本学(Web会議出席)                                 |
|     |        | 【監事現在数1名、出席監事1名】                             |
| 事務局 | 総務部次長  | 津田義裕 他                                       |
4. 議長 理事長：下村和生
5. 議題

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 議案   | 第1号議案：令和2年度事業報告及び財務諸表等の承認 |
|      | 第2号議案：第22回評議員会の招集の決議      |
| 報告事項 | 1：理事の職務執行状況の報告            |
6. 議事の経過及び結果  
はじめに事務局から、Web会議環境について、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された。

その後、下村理事長の挨拶があり、会議に入った。

事務局から、理事現在数8名に対し本理事会は8名全員の出席があり、定款第36条に規定する決議に必要な理事の出席要件を満たすことについて報告があった。また、監事の出席について併せて報告された。

次に、定款第35条の規定に基づき、下村理事長が議長となり本理事会が進行された。

また、定款第38条第2項の規定に基づき、出席した理事長及び監事が本日の議事録署名人となることを確認し、議案の審議に入った。

審議経過は以下のとおり。

#### 6.1 議案

##### 第1号議案 令和2年度事業報告及び財務諸表等の承認

下村理事長及び事務局から資料1に基づき、令和2年度事業報告書、財務諸表等(案)について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり承認された。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・セミナーや講習会の Web 開催準備状況について質問があり、多数者との接続状況や使用するソフト等について検討している旨、小林理事から回答があった。また、新型コロナウイルスが収束した後も、Web 開催を継続できること(は効果的であり)の検討提案があった。
- ・OSL での火災の復旧費用に関する質問があり、特に大きな支出は無かった旨、理事長から回答があった。
- ・新型コロナウイルスの感染が収まらないところであるが、海外 (IAEA) で活動する職員の状況について質問があり、出発時期を調整したこと及び現地で健康上の問題もなく活動している旨、理事長及び久野理事から説明があった。
- ・センターニュースの Web 版をメール配信することについて、検討提案があった。
- ・OECD/NEA との関係に関する質問があり、(当センターの業務に係る) 核セキュリティと保障措置の分野は、対象外である旨、理事長から回答があった。
- ・保障措置業務の合理化について検討提言があったが、IAEA の意向 (や国の方針) があり NMCC 独自では決定できないこと、また現場状況をカメラで遠隔監視している等の工夫はすでに実施してお

り、一定の IT 化は進めていること等について、久野理事から説明があった。

## 第 2 号議案 第 2 2 回評議員会の招集の決議

事務局より資料 2 により、第 2 2 回評議員会の招集について(案)の説明が行われた。

審議の結果、出席全員一致をもって原案のとおり招集が決議された。

### 6.2 報告事項

#### (1) 理事の職務執行状況の報告

資料 3 に基づき、定款第 2 5 条第 6 項に定める「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告」である令和 3 年 2 月から令和 3 年 5 月までの業務執行状況について、理事長、小林理事及び久野理事から同資料に沿って説明があった。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・六ヶ所 OSL での火災に関し、プレスの報道状況について質問があった。

この質問に対し、NMCC が青森県庁経由で報告した内容をみて、地元紙(東奥日報)から問い合わせがあったこと等が、理事長から説明された。

また、NMCC の対応が迅速であり、(一連の対応も)良かったと言えるとのことがあった。

### 6.3 その他

・新型コロナウイルス感染の状況が落ち着いたら、センターの現場(東海保障措置センター等)を見学したいとの希望が出されていることについて、感染状況の落ち着きをみて実施する予定である旨の報告があった。

7. 配付資料

- 資料1 令和2年度事業報告書及び財務諸表等（案）
- 資料2 第22回評議員会の招集について（案）
- 資料3 業務報告

以上、理事会の議事の経過及び結果を明確にするために、議事録を作成し、出席した理事長及び監事が次のとおり記名押印する。

令和3年6月4日

理 事 長 下 村 和 之

監 事 高 本 学

（ 議事録作成者 ： 公益財団法人 核物質管理センター  
総務部次長 津田 義裕 ）